

可児市公共施設等マネジメント基本計画の一部改訂について（概要）

1.改訂の趣旨

令和2年12月策定した可児市個別施設計画のライフサイクルコスト等の内容を、平成29年3月策定の可児市公共施設等マネジメント基本計画に反映させ、あらためて縮減効果のシミュレーション等を行うもの。

2.主な改訂内容

(1)国の指針改訂に伴う追加事項等

- ①公営企業に係る施設
- ②有形固定資産減価償却率の推移
- ③現在要している公共施設やインフラの維持管理経費
- ④平成29年度以降の対策等実績

【大規模改修】文化創造センター、蘇南中学校

【削除】広見児童センター、ふれあいの里、東野住宅の一部

【追加】可児駅東西自由通路、今渡南小・土田小第2キッズクラブ

(2)縮減効果等のシミュレーション

①シミュレーション方法の変更

ア. 各施設計画等との整合を図り、期間を50年間から30年間に変更

イ. 公共施設とインフラの維持管理経費を加算

ウ. 個別施設計画のライフサイクルコストを反映

（改訂前）・各施設の延べ床面積に対して、一律の単価を乗じた金額

・耐用年数は一定

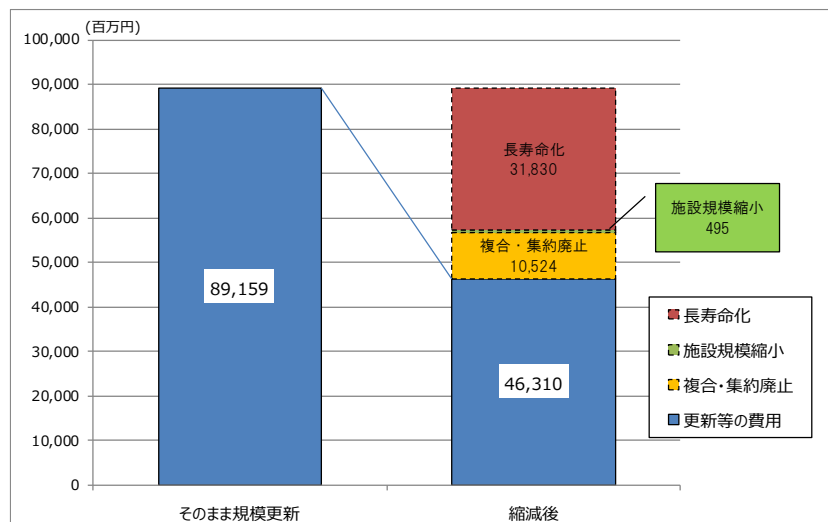
（個別施設計画）・各施設の部位ごとの工事種別・材質等により、細かく積算した金額

・改修等についても、現場確認を行い危険度等の判定

・耐用年数は材質等に応じた年数を使用

②公共施設の更新等に係る縮減効果

シミュレーションの結果、今後30年間に公共施設の更新等に要する経費は、約892億円となりますが、ライフサイクルコスト縮減のための3つの方策【長寿命化、規模の縮小、複合・集約廃止】に取り組むことにより428億円程度縮減し、約463億円にすることができます。



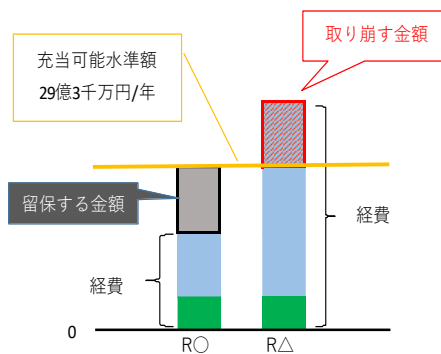
(3) 財源シミュレーション

ライフサイクルコスト削減のための3つの方策【長寿命化、規模の縮小、複合・集約廃止】の取り組みを踏まえた、財源シミュレーション結果は下図のとおりです。

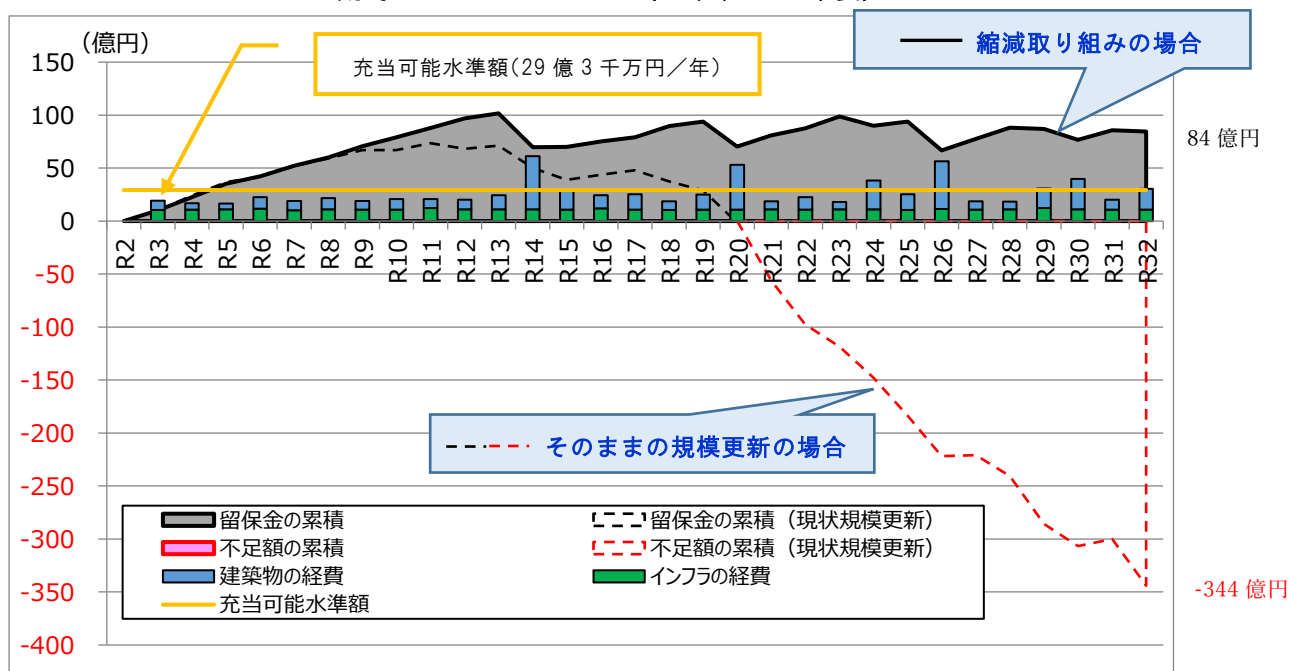
【シミュレーションの想定】

- ◆ 削減のための3つの方策の取り組みを踏まえた公共施設とインフラの更新等に要する経費。(棒グラフ)
- ◆ 毎年度、これらの経費に充当できる財源(充当可能水準額)を、過去10年間の投資的経費の平均額から29億3千万円と見込む。(黄色線)
- ◆ 経費が充当可能水準額を下回る場合は、下回る額を留保(留保金)、上回る場合は留保金から取り崩して補填する。(折れ線グラフ)

【想定イメージ】



財源シミュレーション(～令和32年度)



※留保金の累積は、留保額と取り崩し額の累積をグラフにしたものです。

シミュレーションの結果、そのままの規模更新の場合、令和20年度を境に留保金がマイナスに転じ、令和32年度にはマイナス344億円になります。しかし、3つの方策【長寿命化、規模の縮小、複合・集約廃止】に取り組むことで、令和32年度までに留保金がマイナスになることはありません。

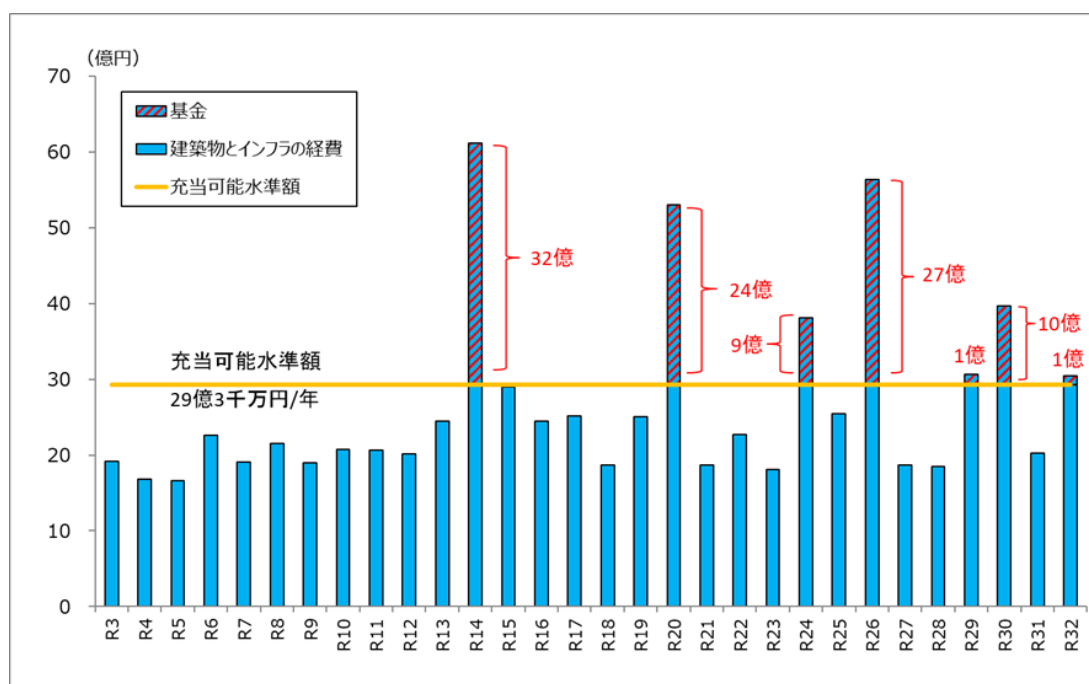
(4)基金

財源シミュレーションと同様、計画期間における毎年度の更新等に充当できる事業費（充当可能水準額）を29億3千万円と想定した場合、大きな更新等が計画されている年度で、経費が充当可能水準額を上回ります。（下図の赤網掛け部分）

こうした年度に市民サービスに影響を及ぼすことなく、計画的に更新等を実施するためには基金の活用が有効となります。本計画の考え方にも、施設にかかる財源の確保として基金の積み立てを明記しています。

そのため、本計画における基金積み立て額の目安は、計画期間における、経費が充当可能水準額を上回る額の合計額104億円とします。

基金積み立て額の目安のシミュレーション



ライフサイクルコスト削減の方策と効果額

- ◆長 寿 命 化：15 年長寿命化することにより、令和 33 年度以降に建替えとなる施設の 60 年目の建替え費用と、長寿命化に伴う 60 年目の補修費用の差額
- ◆施設規模縮小：長寿命化してもなお令和 32 年度までに建替えとなる施設については、建替え時に施設規模を※13.8%縮小するものとし、その縮減相当額およびその後の維持補修費用の 13.8%縮減相当額の合計
※13.8%・・・R42 人口減少率
- ◆複合・集約廃止：長寿命化を行わず、施設耐用年数（60 年）までに取り壊すものと仮定し、その施設の建替え費用から取壊し費用を除いた額とその後
の維持補修費の合計

※ ライフサイクルコスト削減に示された施設の複合・集約廃止は政策的に決定されたものではなく、公共施設等マネジメントの視点から提案するものです。また、補修や更新のための費用は予算の裏付けの基に確定したものではありません。

令和 32 年度までに縮減効果のある方策に○を付けています。

【表 3-1】 施設分類毎の今後の方向性の検討

※施設名称は略称表示。

施設分類毎の今後の方向性の検討	施設名	ライフサイクルコスト削減の方策				その他			
		長寿命化	効果額 (百万円)	施設規模縮小	効果額 (百万円)		複合・集約廃止	効果額 (百万円)	
義務教育施設の今後の方向性 ・児童生徒数に見合う適正規模で建替 ・小規模校の集約 ・建替時には校舎とキッズクラブを複合化 ・余裕教室の有効活用 ・施設整備に関する基本方針の策定	今渡南小学校	○		○					
	土田小学校	○							
	帷子小学校					○	南帷子小との集約		
	春里小学校	○		○					
	旭小学校	○							
	東明小学校	○		○					
	広見小学校	○							
	南帷子小学校		14,746		262	○	5,928	帷子小との集約	
	桜ヶ丘小学校			○					
	今渡北小学校			○					
	兼山小学校					○		周辺校との集約	
	蘇南中学校			○					
	中部中学校			○					
西可児中学校					○		広陵中との集約		
東可児中学校			○						
広陵中学校					○		西可児中との集約		
その他の教育施設の今後の方向性 ・衛生基準に適合した施設への建替(学校給食センター) ・入室希望者の推移に注意(ばら教室)	学校給食センター ばら教室KANI	○	14		0		204		
	学校職員住宅(兼山・今渡)					○			用途廃止
地区センター等の今後の方向性 ・地区センターを地域コミュニティの核として位置付ける ・稼働率の低い部屋の有効活用 ・同地区の地区センター等の類似施設は適当な時期に集約	今渡地区センター	○							
	川合地区センター								
	下恵土地区センター	○							
	土田地区センター	○							
	帷子地区センター	○							
	春里地区センター		6,881		67		570		
	春里地区センター分館・倉庫					○			適当な時期に廃止
	姫治地区センター	○							
	平牧地区センター	○							
	桜ヶ丘地区センター			○					
	久々利地区センター								
	広見東地区センター								
	中恵土地区センター								
広見地区センターゆとりピア									
兼山地区センター	○								

(次頁に続く)

【表 3-1】(続き) 施設分類毎の今後の方向性の検討

施設分類毎の今後の方向性の検討	施設名	ライフサイクルコスト削減の方策					効果額 (百万円)	その他
		長寿命化	効果額 (百万円)	施設規模縮小	効果額 (百万円)	複合・集約廃止		
文化芸術施設の今後の方向性 ・適切な予防保全による長寿命化とランニングコストの抑制 ・市民利用優先の検討と利用料金の見直し	文化創造センター(ala)		—		—		—	
スポーツ施設の今後の方向性 ・気軽に利用できるスポーツ施設環境の整備・充実	B&G海洋センター(体育館) B&G海洋センター(プール) ウエイトリフティング場 スタジアム 総合運動場管理棟 第1号道場 第2号道場 運動公園テニスコート 鳴子近隣公園テニスコート	○	393		0	○	452	建替え時に廃止
その他の生涯学習施設の今後の方向性 ・施設利用者の増加、施設稼働率の向上(観光交流館) ・ニーズの変化に対応する施設のあり方の検討(図書館) ・観光グランドデザインの推進と周辺施設との複合化(郷土歴史館) ・歴史的価値を活かした有効活用(戦国山城ミュージアム)	観光交流館 多文化共生センター 図書館本館 図書館帽子分館 可児郷土歴史館(本館・収蔵庫・民俗資料館) 陶芸苑 兼山歴史民俗資料館 荒川豊蔵資料館	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	21	○	21	○	280	
本支庁舎の今後の方向性 ・市庁舎西館建替え時に総合会館との複合化	市庁舎(西館) 市庁舎(東館) 総合会館 総合会館分室 水道庁舎	○ ○ ○ ○ ○	3,481		0	○	1,217	用途廃止
消防施設の今後の方向性 ・消防団車庫の充実 ・建替え時には地区センターと複合化 ・旧消防団車庫(現倉庫)の廃止	消防団車庫 旧消防車庫(4棟)	○ ○	144		0	○	40	適当な時期に廃止
その他の庁舎施設の今後の方向性 ・適切な維持管理。	エコドーム 水防センター 可児駅東西自由通路	○ ○ ○	—		—		—	
保育子育て施設の今後の方向性 ・当面の施設不足は民間で対応(保・幼) ・適正規模更新(保・幼) ・他の施設にも子どもの居場所を確保(見せ) ・高齢者や障がい者施設との複合施設に更新(見せ) ・建替え時には年少人口推移に応じて適切な地域に配置(見せ) ・学校の建替え時に複合(キッズクラブ) ・適切な維持管理(くれよん・マーン)	久々利保育園 めぐみ保育園 土田保育園 兼山保育園 瀬田幼稚園 児童センター(桜ヶ丘) 児童センター(帽子) こども発達支援センターくれよん キッズクラブ(11棟) 子育て健康プラザマーン	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1,453		0		0	
高齢者用施設の今後の方向性 ・他の施設にも高齢者の居場所を確保(老福) ・必要機能の再検証(老福)	老人福祉センター 可児川苑 老人福祉センター 福寿苑 福寿苑サービスセンター 老人福祉センター やすらぎ館	○ ○ ○ ○	1,542		0	○	67	事業廃止済
その他の福祉施設の今後の方向性 ・貸館機能の見直しと児童、障がい者福祉機能の拡充(福セ) ・適当な時期に施設廃止し用途変更或いは民間譲渡(レポート)	福祉センター レポート可児 国民健康保険診療所	○ ○ ○	1,375		0	○	639	サービスの廃止 用途廃止
市営住宅の今後の方向性 ・民間賃貸住宅の増加による集約と適切な維持管理による長寿命化	東野住宅 桃塚住宅 広見ヶ丘住宅 清水住宅 下切住宅 広跳ヶ丘住宅 瀬田住宅 新兼山口住宅 霞住宅 城山住宅 柳栄住宅	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1,779	○	144	○	1,126	G・H棟解体済 集約廃止 集約廃止 集約廃止(一部)
効果額合計(百万円)			31,830		495		10,524	